

校長室だより

No. 27

平成 29 年 11 月 10 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

修学旅行 禅寺の教え

夕暮れ迫る京の街角を折れると、車一台が通れば、あとは行きかう人がよけながら歩くくらいの狭い小路が見えてきました。路の両脇は「一見様お断り」といわんばかりの風情ある老舗料亭が立ち並び、京を訪れた外国人も、その景色をゆっ

くり楽しみながら歩いています。その小路を数十メートル歩いたところで、また狭くなった閑静な小路に入っていくと、続く壁の先に寺の門が現れました。

こちらの名を名乗ると、「はい、どうぞ中にお入りください」と扉の向こうから低い声がして、重々しい扉がゆっくりと開きました。門の先には、整然とした小庭が見え、低い声の主であった和尚さんが迎えてくださいました。奈良公園を楽しんできた心の高揚もすっと緊張に変わり、うす暗くなってきたお堂にすぐに通され、静かに座ることになりました。ときは、午後 4 時 40 分。

全員が入ると、すぐに靴下を脱ぐよう指示され、坐禅の組み方を教わりました。姿勢を整えることで、心を整え無の心を作ることを教わりました。坐禅が始まると、50 人ほどがいるとは思えない静けさでした。警策の音だけが響き渡ります。10 分ほどの短い坐禅でしたが、ひざや股関節に痛みが感じられるなど、坐禅の雰囲気をはんの少し体験することができました。

そしてそこからは、和尚さんのお話です。「外国の方もよく体験に来てくださいます。その方々もみんな正座をしてもらってお話を聞いてもらっています。」坐禅に続き正座をして姿勢を正し、お話を聞くことになりました。

最初に教えていただいたのが、昨今、日本の言葉でもっとも世界で知れわたってきているのが「禅」であることでした。アメリカの企業「アップル」の創始者であるスティーブジョブズ氏も、「禅」を愛し、心を無にする時間を大切にしてきたこと、今でもアップルの社員は坐禅の研修に来ることがあるということでした。このお寺の和尚さんも、海外から呼ばれ講義をしに行く機会が何度もあるそうです。世界で「禅」の心を学ぶ人は多く、逆に日本人の方が日本の歴史や生活にある「禅」が語れないことが多いと話されました。

そして、「今晚夕食を食べる人は手を挙げてください。」と質問されました。当然ほぼ全員が手を挙げます。「その保証はどこにもないのです。」と切り出されました。ここからは記憶に任せ、和尚さんのお話を再現します。



「お釈迦様が 8 日間の坐禅をし、8 日目の夜に金星を見たときに、悟りを開かれました。その悟りとは、今あるいのちを大切に生きていくことでした。ここに座禅の体験に来られた人のなかで、次の日亡くなられた方もいます。若くして、急病や事故で命を落とされた人もいました。東日本大震災は、午後 2 時 45 分頃に起こったと思います。たくさんの方々が亡くなられました。その方々もその晩に家族で楽しく食事をするつもりでおられたと思います。しかし、食べることはできませんでした。ここへ来た記者の方が教えてくださいました。大震災で亡くなられた方々の多くが携帯を手にしていました。みんな家族の声が聞きたかったのです。亡くなられた方々がわたしたちに教えてくれているのは、この一瞬一瞬何があるかわからない。自分のいのち、家族のいのちをいつも大切にするることなのです。「禅」とは、いのちを大切にすることです。 —途中省略—

そろそろ、足が痛くなってきたようですね。今痛いのは自分だけだと思う人は手を挙げてください。(間)他にも痛い人がいると思う人は手を挙げてください。(間)そうです。苦しいのは自分だけではないのです。他の人も苦しいのだと思うと辛さも薄らぎ、頑張る力がわいてきますね。これから、みなさんは何度でも自分だけが辛い、苦しいと思うときが訪れます。でもその苦しみはあなただけではないのです。誰もが辛い苦しみをもつのです。それをお釈迦様は説き、坐禅で無の心を学ぶこと、お墓参りをすることで亡くなった方のことを思い出し、亡くなった方との別れの辛さを思い起こすことだと教えてくださいました。

実は、ここまで長い話をしました。しなくてもよい話もたくさんしました。それは、足が痛くなる辛さを少し味わってもらったためでした。ここまでみなさんはよく話を聞きました。辛い、苦しいと思うのは自分だけではないことをよく心に刻んでおいてください。この後の食事をありがたくいただいでください。」

お話が終わり門を出たのは 5 時 50 分を過ぎた頃でした。今年坐禅を体験させていただいたお寺は、建仁寺という小さなお寺でした。栄西を祖とし、一休禅師、今川義元が修行をしたお寺です。和尚さんは寺を最後に出たわたしに何度もこう語りかけてくれました。「全国トップレベルのお子さんたちですね。たくさん旅行生が来られますが、本当にトップレベルです。」と。たくさんの人を見てきている和尚さんです。ありがたい言葉に礼を言い、寺を後にしました。

11月15日(水) 「県内一斉ノー残業デー」に取り組みます

愛知県では、労働団体、経済団体、行政、有識者とともに「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」を設置し、働く人の仕事と生活の調和を促す「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 2017」を実施しています。この運動の趣旨を踏まえ、11月15日(水)の「県内一斉ノー残業デー」を定時退校日とするなど、時間外勤務の縮減に向けた積極的な取組が行われるよう通知がありました。

本校でも、この取組を行う予定です。職員の勤務終了時刻は、16時45分です。御理解ください。